



ヤマダ電機とメーカー21社が総力を結集 「デジタル家電フェア2006 &大処分蚤の市」開催!

2006.11.25&26 / 於・グリーンドーム前橋



昨年11月25日(土)26日(日)の二日間、グリーンドーム前橋にて「デジタル家電フェア2006&大処分蚤の市」が開催された。これはヤマダ電機が総力を結集し、内外有力メーカー21社協賛のもとで開催した「ファン感謝デー」とも呼べる二日間。その目玉は大きく3つ。「最新デジタル家電体感コーナー」「お得なプライスの商品を豊富に取りそろえた蚤の市」、そして人気キャラクター、やプロ野球選手が続々と登場した「イベントコーナー」である。

まず「デジタル家電体感コーナー」はメーカー各社が最新モデルを用意し、自由に体感できる専門ブースを展開。話題のハイビジョン放送・録画に対応したAV機器、ウィンドウズ・ビスタ搭載パソコン、ワンセグ対応携帯電話、デジタルカラープリンターなど、まだ店頭にも登場していないようなニューモデルもいち早く展示され、来場客の注目を集めた。

しかも、メーカーブースでも大特価商品を山積み販売。一般的なメーカー展示会では見られない、ヤマダのイベントの名に違わない、お得な趣向が凝らされていた。

蚤の市は終日の大盛況

一方「大処分蚤の市」は、常日頃からチラシなどで「ダントツの安さ 安心価格保証」を標榜するヤマダ電機の真骨頂ともいえる大特価セール。デジタル家電のみならず、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、クリーナーなどの生活家電、ラジカセやミニ

コンなどのオーディオ機器など、豊富な品揃えを驚きの低価格で販売。両日も開店から閉店まで人だかりが途絶えることはなかった。

蚤の市を目指して早朝から並んだというユーザーの1人は「前からほしかったデジカメを手に入れられた。しかも、通常では考えられない低価格。朝早くから並んだ甲斐があった」と満足そうに語っていた。

さらに人気を集めたのが「イベントコーナー」だ。その出演者の多彩さもヤマダ電機ならではの、子供たちに大人気の「ガチャピン・ムック」や「アンパンマン」のキャラクターショーには、イベント会場がはちきれんばかりの親子連れが集まった。

また、「女子十二楽坊」や「スワンブ(スワンブデルタロックカフェ)」「聖」などによるLIVEはフェア会場を大いに盛り上げ、「乙葉」や「福永ちな」のトークショーでは微笑ましい笑みが随所にこぼれた。

そして、改めて人気の高さを示したのがプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」の斉藤和巳投手、新垣渚投手によるトークショー&サイン会だ。両投手ともシーズン中の苦労や秘話、来期への意気込みなどをストレートに語り、ファンは生の姿をじっくりと堪能できた。

ヤマダ電機のデジタル家電フェアは、最新家電の体感・販売だけでなくとどまらない「家族皆で楽しめるイベント」としても注目できる。



一宮忠男ヤマダ電機副社長(中央) 孫正義ソフトバンク社長(右から二人目)らによるオープニングのテープカット。



連日、黒山の人だかりとなった「大処分蚤の市」。驚きの低価格商品の品揃えが満載だった。

家族連れでこった返したアンパンマンショー。その人気はもはや国民的だ。



ソフトバンク・ホークス斉藤投手のイベントには多数のファンが参加。生の魅力に酔いしれていた。熱いヒートでフェア会場を大いに盛り上げたスワンブのLIVE。CMで人気のこの方の登場は、まさに予想外!

法人営業部もブースを展開。最新のオフィス機器を前に、ITシステムに関する相談が絶えなかった。



「見る」試す「確かめる」2日間 ヤマダ電機「ビジネスフェア」開催

ヤマダ電機法人営業部は昨年10月19日(木)&20日(金)の二日間、横浜ワールドポーターズにおいてBUSINESS FAIRを開催した。

これは昨年7月(於・LABI1 難波)に続く2回目となり、関東では初の開催。内外13社が出展し、最新のIT機器やセキュリティシス

テムなどを紹介。来場者に、その優れた最新機能を体感してもらった。

また、会場内ではセキュリティに関する最新情報を網羅した「ソリューションセミナー」を開催。フェア会場限定の超特価モデルも多数用意されるなど、情報面でも価格面でもヤマダならではの「お得な二日間」となった。

